



学校だより

梅雨が明け、厳しい暑さの日が続いていますが、子どもたちは、1学期のまとめの活動にがんばって取り組んでいます。4月に新学期を迎えてから、様々な行事や出来事がありました。この中で、自分ががんばったこと、友達と一緒に取り組んだことなどをしっかりと振り返って、自分自身の成長や集団としての高まりを自覚してほしいと思います。

今週末からいよいよ夏休み。学校では、夏休みに入る前に、夏休みのめあてについて子どもたちと話し合っています。学習や運動、手伝いなど、約40日の長い休みの間に、継続してがんばるという経験をしてほしいと思っています。

長い期間、めあてに向かって、継続してがんばるということは、簡単なことではありません。途中でしんどくなってしまうこともあると思います。そんな時、お家の人からの励ましや称揚の言葉があると、やる気がわいてきます。ぜひ、声かけをお願いします。

まだまだ暑い日が続きます。体調管理にも十分気をつけてほしいと思います。

休み明けに、めあてを達成し、一回り大きくなった子どもたちと会えるのを楽しみにしています。



親子キャンプファイヤー

7月5日、心配されていた雨も上がり、キャンプファイヤーが行われました。野外炊事、キャンプファイヤー、レクリエーション、花火・・・とても楽しく夏の宵闇を過ごすことができました。保護者の皆様、準備や片付けなどのご協力ありがとうございました。



外部講師による授業

6月中旬から、様々な学習活動に外部講師をお招きして、授業をしていただきました。

それぞれの専門の方に教えていただくことで、教員にはない専門知識や技能が学習できるし、様々な職業に従事している方の話に触れることでキャリア教育にもつながると考えています。

租税教室 (高学年 6月19日)

社会科の学習で、税務署から2名の先生方に来ていただき、「私たちの生活を支える税」について学習しました。

資料をもとにして、どんな税があるのか、小学生の子どもにどのくらいの税が使われているのか、みんなで考えたり、説明を聞いたりして学習しました。税の意義について改めて意識することができました。



アイマスク作り体験 (中学年 6月24日)

総合的な学習の時間で、社会福祉協議会の方をお招きして、アイマスクと車いすの体験を行いました。学級参観日の時だったので、親子で体験して学習しました。

校内に、点字ブロックを作ったり、車いすを何台も持ってきたりしてくださったので、体の不自由な方の立場に立った経験ができました。当事者になってみなければわからない不便さを体験し、自分たちができることについて考えることができました。

切り絵 (クラブ活動 6月26日)

毎年、クラブ活動の時間で、切り絵の名人 山川忠徳さんに教えていただいて、切り絵をしています。

名人の作品を見せていただき、切り絵の魅力にふれ、カッターナイフの扱いやきれいに切るコツなどを教えていただき、切り絵に取り組みました。8月の「島の盆」で、白石踊の披露とともにキャンドルロードの飾りとして発表されます。



山陽新聞社さん太号 (中学年 7月3日)

国語科の新聞づくりの学習で、山陽新聞社の記者の方をお招きし

て、新聞の作り方について教えていただきました。

新聞社の仕事や新聞の構成についてお話を聞き、新聞づくりのノウハウを学んで、各自でいくつかの記事をまとめて新聞づくりに取り組みました。

今日の学習の様子を載せた新聞をさん太号の中で作成してもらいました。

また、山陽新聞本紙にも、学習の様子が掲載されました。

桑畑見学 (中学年 7月5日)

社会科の学習で、白石島の農業について、桑事業責任者の山本榮則さんに教えていただきました。

桑の実や葉の収穫の作業の方法や大変さや工夫していること、収穫した実はジャムになることや、収穫した葉はお茶になること、桑の栽培が始められたわけなどについて教えていただき、白石の農業について学習を深めました。



海辺の学習 (全校 7月9日)

毎年、観光協会長の原田茂さんのご指導をいただいて、海辺の学習

(シーカヤック)を行っています。

今年は、セルフレスキューの練習もさせていただきました。

白石島のすばらしさ、楽しさをしっかりと味わうことのできた海辺の学習でした。